



# 豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第56号 R3.10.15

## 中学生「まなび舎教室」を開始しました

本町では、平成26年度より、「中学生の学習習慣の定着及び学習意欲の向上を図るため、公民館を活用して、主体的に学ぶ場の提供を行う」ことを目的に、「まなび舎教室」の事業を実施しています。今年度は、新型コロナウイルスの影響で開始を延期しておりましたが、10月1日に大阪府下の緊急事態宣言が解除されたことを受け、ようやく開始することができました。

参加した生徒たちは、中間テスト前ということもあり、わからないところを自分で調べたり、アドバイザーの先生に聞いたり、自ら主体的に学習に取り組んでいました。

### 【東地区】



### 【西地区】



「まなび舎教室」の申し込みは随時受け付けております。利用を希望される場合は下記までご連絡ください。

**※ 人数が定員になりましたら、申し込みをお断りする場合がありますのでご了承ください。**

連絡先：豊能町教育委員会 こども未来部 義務教育課 ☎072-739-3427

## 各学校園所の取組みを家庭の教育に ～めざす子ども像の実現に向けて⑤～ 吉川小学校

### 「地域で学ぶ、地域に学ぶ、よしかわの教育」

吉川小学校では、豊かな自然と長い歴史が刻まれた町「よしかわ」の特徴を生かし、地域とのつながりを大事にした「よしかわの教育」を進めています。地域の人々との出会いを通じて様々な生き方や知恵に触れたり、体験的に学んだりすることを大切にしながら、地域を誇りに思える子どもを育てたいと考えています。

低学年は、地域の方の畑でサツマイモの苗植え体験、吉小サポーターの方と初谷川での川遊び、畑での野菜作りなど、五感や身体感覚を通して自然の豊かさや大切さなどを学んでいます。中学年は、「吉川を知ろう、伝えよう！」をテーマに、自然・歴史・町おこし・施設など自分たちで学習内容を決めて探求的に学ぶ地域学習や、味噌づくり体験、金ヶ谷池の学習などに取り組みます。5年生は、地域の方の田んぼをお借りして田植えをさせていただき、学校田では、土づくり・しろかき・田植え・稲刈り・脱穀・もみすり・精米などの米作り作業を自分たちで行い、体験的に学びます。6年生になると、地球規模で環境の保全について考えるSDGsなどグローバルな学びにつながっていきます。

このような活動や体験学習において学んだことや、地域で暖かく見守られ育てられた経験が、これからの子どもたちの生きる力になることを信じます。心身頭を健やかに育む学びの環境づくりを地域・家庭と協働してこれからも進めていきたいと思えます。



初谷川での川遊び



吉川を知ろう、伝えよう！



地域の方の田んぼで田植え

## 西地区 PTA部会を開催しました

西地区においては、令和8年4月に施設一体型の義務教育学校開校に向け、10月9日に、西公民館でPTA部会を開催しました。

会議では、閉校に当たっての各单位PTA会費の残金について協議を行いました。

### 各委員からの意見（一部抜粋）

- ・開校時には0ベースだと考えている。
- ・0ベースにした場合、4月に支払うべき保険料などをどうするのか。
- ・開校時4・5月に必要なものだけ前年度に残しておくなど、考えていく必要がある。
- ・開校準備金というような費目を立てたらいいのではないのか。
- ・細かい金額を決めるのは1年前2年前でもよいが、どれくらいというものがなければ残金を処理しにくい。

協議の結果、最低限の準備金が必要になるかもしれないことを踏まえ、各单位PTAで残金を処理していくことを確認しました。

準備金の詳細については、令和6年度に検討を行います。

